

気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)の提言に賛同

山陽特殊製鋼株式会社(代表取締役社長 宮本 勝弘、本社 兵庫県姫路市)は、このたび、気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)による提言への賛同を表明しました。

TCFDとは、主要国の中央銀行や金融規制当局が参加する金融安定理事会(FSB)によって設立されたタスクフォースです。2017年6月に公表した最終報告書において、企業に対して、気候変動に起因するリスクと機会の財務的影響や具体的な対応・戦略を開示することを提言しています。

当社は、気候変動問題が人類の存続に影響を与える重要な課題であるとの認識のもと、2021年4月に2050年カーボンニュートラルの実現を目指す方針を打ち出し、2021年7月には、その実現に向けたロードマップを作成し公表いたしました。

今後は、TCFD提言の趣旨およびパリ協定の長期目標達成に取り組む国際社会の状況等も踏まえ、気候変動が当社グループの事業活動に与える影響等に関する情報開示を行ってまいります。

以上